

特集Ⅰ

この事業
こう
評価!!

個人は



夏休み企画

子ども向け

議会見学会

行いました!

議会から町へ提案!



「政策提言」

特集Ⅱ

もっとよく見えわかりやすく 町民に開かれた議会へ



Fujimi

議会だより

No.

180



富士見町議会だよりは議会ホームページでもご覧いただけます

<https://www.town.fujimi.lg.jp/site/gikai>

第10回 富士見の日 フォトコンテスト・議長賞 [至福のひととき] 佐川隆博





町内の小中学校の夏休みが始まった7月27日に「子ども向け議会見学会」を行いました。この企画の経緯や、議会としての今後の取り組みなどお知らせします。



議場のマイクを使って自己紹介

今年4月に「こども基本法」が施行され、議会を含む地方自治体が「こども施策」の策定にあたり当事者の声を反映させることが義務化されました。こうした背景もあり、子ども、若者の意見反映の取り組みが急務となっています。全国には「子ども議会」「若者議会」を行う自治体も多数あるため、そうした事例も参考にし、小中学生に実際に議場に足を運び、議会のことを知ってもらう機会になればと、今回開催しました。

当日は、庁舎を1階から見学し、屋上へ上がって町の様子を眺めました。その後、議員による自己紹介、議会の役割の説明後、議場でクイズなど発言する機会を設け、議場の仕組みや約束を確認しました。参加児童は議場で受け答えや採決の仕方なども体験し、感想発表をして解散となりました。



議場での発言
議場にいる議員がマイクのサポート



屋上から富士見町を眺めてみる



富士見町議会では来年度も、夏休みの「子ども向け議会見学会」を開催予定で、小・中学校から要望があれば「出前授業」なども実施していきたいと考えています。町民の皆さん、小中高生、学校からも富士見町議会と「こんなことはできないか?」といったような、提案もいただけたら幸いです。

子どもたちの

感想



議会ではいろいろなことが話し合われているのがわかった。

役場のなかに議場があることは知らなかった。いろいろな話し合いをしているのがわかった。

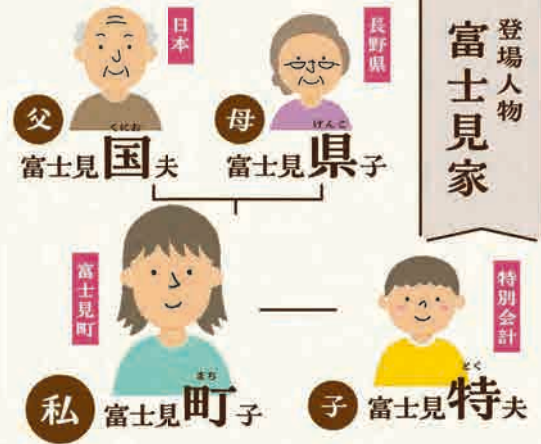
見えないところで仕事をしている人のことがわかった。

町のことを思っ取り組んでいて、すごいと思った。

ふじみまちの決算

令和4年度の決算書が提出され、町議会では決算審査を経て認定を行いました。「自治体財政は難しい」とよく言われます。そこで、富士見町の決算を「身近な家計」に例えてみました。

※決算情報の詳細は「広報ふじみ 11月号 (P2-4)」をご参照ください。
併せてご覧いただくと、**あなたも《財政通》!**



収入		歳入	
給料の残り 貯金の取り崩し		繰越金 繰入金など	約 24 億 (23.7%)
給料		町税	約 25 億 (25.0%)
父からの仕送り		地方交付税 地方譲与税 国庫支出金など	約 35 億 (34.7%)
母からの仕送り		県支出金 各種交付金など	約 9 億 (9.2%)
新たな借金		町債	約 7 億 (7.4%)

支出		歳出	
生活費	食費 人件費	義務的経費 約 28 億 (30.6%)
	教育費・医療費など 扶助費	
	借金返済 公債費	
その他の生活費	水道光熱費 物件費	その他経費 約 53 億 (57.6%)
	家の修繕費 維持補修費	
	自治会費など 補助費など	
	貯金 積立金	
	株式投資 投資、及び出資金	
臨時的支出	車の購入費 普通建設事業費	投資的経費 約 11 億 (11.8%)
	家の増改築費など		

財政診断

財政力指数 **0.53**

$$\frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}} = \frac{\text{給料など}}{\text{標準的な生活に必要な費用}}$$

国の規定によって算出した「標準的な需要額」に対する「標準的な収入額」の割合です

高い方が望ましい

比率が高いほど財政力が強いことを示します

経常収支比率 **85.0**

$$\frac{\text{経常的経費充当一般財源額}}{\text{経常一般財源額}} = \frac{\text{生活の中で必ずかかる費用}}{\text{給料など}}$$

「経常的な収入のうち一般財源」に対する「毎年支払う経常的な経費」の割合です

低い方が望ましい

比率が低いほど新たな行政活動を行う余裕があります

私たちが

決算報告 決算審査結果「将来を見据えた健全な財政運営」



里見孝明 監査委員

織田 昭雄 監査委員 (議会退出)

令和5年7月11日から7月28日までの6日間にわたり審査した結果、各会計の予算は適正に執行されているものと認めます。令和4年度一般会計決算は、歳入では町民税や固定資産税を含む町税が増収となり、交付税や国庫補助金が減少したものの、総額では前年度より大幅に増額となりました。歳出では橋りょうの補修工事や幹線道路の舗装、側溝改修の工事を積極的に実施したこと、また、物価高騰に直面する町民の負担を軽減する事業も実施され、町民の負担を軽減し、町の未来に投資する、適正な財政運営が行われていることをご報告いたします。今後も、公共施設や道路・橋りょうなどのインフラ施設の更新、改修を進めるために、将来に向けた計画的な財政運営を期待いたします。

考えよう

決算

この事業 私は こう評価!!

『考えよう、決算』では、決算審議全般の中で各議員が質問したなかから、特に関心のある項目を一つ、事業実績と照らし合わせ評価をお伝えいたします。



学校教育

給食費の補助等の 検討をしているか

経済的に支援の必要な家庭が増加傾向にある。子育て家庭を支えるために給食費無償化や補助を行う検討をしてはどうか。



山口議員

町からの回答

町独自の補助については、考えていない。R4年度は、1食あたり10円(約208万円)の補助を実施し、保護者負担を軽減し、献立の質を維持した。R5年度も同様に、給食費の現状維持のために国の臨時交付金を活用することで対応をしている。



こう
評価!

すべての子どもたちが、せめて給食は、安心しておなか一杯食べられるように、町としての支援施策を望む。

環境

「脱炭素 × 持続可能な まちづくり」に向けて



西議員

「地球温暖化対策事業」の具体的な委託内容とは。

町からの回答

令和5年度に策定された「地球温暖化対策実行計画」の「事務事業編」と令和6年度策定予定の「区域施策編」の準備、情報収集を民間企業に委託した。当該企業に講師依頼し、役場職員や町内企業、富士見中の1年生に向けた「ゼロカーボン推進セミナー」を計3回開催した。



こう
評価!

対象を役場職員や企業、中学生など限定せず、一般町民が広く参加でき、地球温暖化防止の理解と具体的な行動に結びつくセミナーの開催を求めたい。

雇用

求人・求職活動



矢島議員

令和4年度、無料職業紹介所の紹介で内定者は17名。その方々の雇用条件や年齢別の状況は。

町からの回答

新規登録者45名、町内求人約60社に対し17名の内定者。年齢層は30歳代が多かったこと、全員町内にお住まいの方々の間で、転職された方や子どもから手が離れた方などのパート希望の女性が半数以上だった。また登録された方はハローワーク諏訪から提供される求人情報や、町の無料職業紹介情報を閲覧できる環境を提供している。



こう
評価!

企業の人手不足は続いており職業紹介所機能の更なる活性化に期待。

子育て

妊娠から出産・子育て までの窓口整備



名取議員

少子化対策として、新たに取り組んできた事業は。

町からの回答

子ども課の場所を保健センターより移動し、若い世代の方や子供が気軽に課に来れるようなレイアウトを工夫した。また妊娠から子育てまでの窓口を一本化し、子ども家庭相談係を新設した。



こう
評価!

若い世代の方に寄り添い、一貫した相談窓口を新設した事は評価できる。



観光

観光産業施設の 安全対策及び人材力の底上げ

小倉議員



町有観光施設安全対策等委託料の内容は。当該事業は継続していくのか。その場合、別途予算を立てるのか。

こう
評価!

委託業者と折衝し、新規に予算を立てることなく効果的な事業実施につなげられたことは評価に値する。

町からの回答

この事業は、パノラマが東急に安全対策等の指導を委託していたものであるが、令和4年度より「おっこと亭」「蔦木宿」の施設及び職員に対し、安全対策指導、接客指導を行うよう範囲を広げた。従業員の資質向上に大いに役立っているため今後も実施していくが、予算は別立てではなく、今までの予算の中で実施して行く。



土木

舗装改修工事に 隣接する歩道の改修は

牛山議員



町内各所で車道の舗装改修が行われたが、隣接する歩道が改修されていないのはなぜか。

町からの回答

道路の舗装改修工事は「インフラ長寿命化計画」に基づいて実施されており、主な財源は緊急自然災害防止対策費であるが、道路は“舗装の表層に係る補修”に限られるため歩道の補修は対象外となっている。しかし補修が必要な歩道については、通学路を優先して、本年度も町費にて対応する予定。



こう
評価!

取り組みは評価したい。地区からの要望を待つだけでなく、町主導で対象地区に働きかけて欲しい。

ふるさと納税

2億円を超える ふるさと納税、初の企業版

渡辺議員



人気の返礼品と寄附利用目的は。初の企業版1社はどのような企業か、増やすための取り組みは。

町からの回答

243品目の内カゴメに関する返礼品が全体の約7割。寄附目的は、自治体に任せる52.30%、福祉(子どもから高齢者)23.67%、観光13.54%、自然保護10.49%。企業版は東急不動産(株)から90万円、健康促進事業を実施。ゆかりある企業でないと難しくトップセールスが主になるが、今後周知方法も検討していく。



こう
評価!

PR効果や町内事業所の人材確保など企業メリットのある企画を積極的に提案し、企業版による更なる町の財源確保に期待。

農業政策

水田活用の先の先を 見据えた再基盤整備

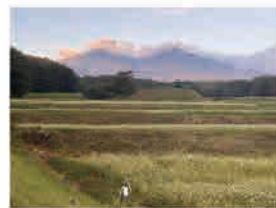
五味議員



小六地区の事業説明にある「排水対策を行い」の文言が、新規事業の高森地区の説明で記載されていない理由は。

町からの回答

小六地区(令和元年から5カ年)の再基盤整備事業は、水田に高収益作物を作付けするための事業(県営事業/対象農地25.8ha/総事業費4億円)で、高森地区(令和7年から5カ年計画)の再基盤整備事業は、水田を傾斜畑に整備する事を計画している事業(県営事業/対象農地30.0ha/総事業費5億円)なので記載していない。



こう
評価!

米の消費量減少は否めない、過去に例のない厳しい水田政策にも対峙しながら農地を継承していく工夫と努力を評価。

経済対策

新分野・業種転換など新たな 経営形態への取り組みに貢献

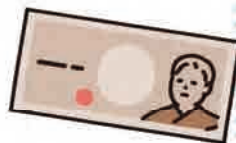
事業内容と実績と継続性は。

三井議員



町からの回答

国の中小企業等再構築促進事業及び県の信州農業生産力強化対策事業の交付決定を受けた6事業者に事業転換や、新規事業進出に対する補助の上乗せ補助金410万円を交付した。また、買い物困難者の対策や森林環境整備の促進を目的とし、経営形態の転換と町の課題を解消することに対する支援として町内5事業者に1,688万円を交付した。



こう
評価!

コロナ渦による産業の変化に対して、必要な支援であり、今後町単独でも必要な支援と考え、評価します。

「政策」



決算審査で見えてきた課題から
予算につなげたい
全会一致の政策を提案

議会発
政策
サイクル

令和5年提出 政策提言

各議員からの提言候補は **22** 項目

一部を抜粋掲載

- 商店街の歩道確保（電柱地中化）
- 給食の無償 / 地産地消 / 有機化
- 教育支援員増員
- パノラマの町民優待

〳〳 などなど、沢山の
アイデアを議論 〳〳



全議員11名が同意できた
3項目に絞り込んで提言

提言
1

町内外への情報発信強化のための コミュニケーションチーム新設



観光・特産品
子育て環境・仕事
補助金・イベント
などの情報発信

各課からメンバーを集める組織横断的な
コミュニケーションチーム新設

富士見町マーケティング戦略の策定
コンセプトの確立、アクセス数や補助金申請数
等の数値的目標の設定 など

PR ツール・
内容・予算の拡充

各課で共有できるコンセプトイメージ撮影、SNS
広告宣伝活用、町内ポスター掲示強化、町 LINE
での画像データ活用、住民の協力を得た企画作り
や情報の発信 など

たとえば：町の学校環境や地域のつながりの
魅力が伝わる写真を活用した広告

なつかしい
未来

富士見町



提言
2

エコライン延伸

町長による県へのエコライン県道化と
北杜市までの連結に関する要望提出



提言
3

水田活用の直接支払 交付金要綱の見直し

茅野市、原村、富士見町共同での
● 国へ要綱の見直し継続要望
● 県と協議し、従来の交付金並みの
補助金の検討



提言



議員全員が同意できる
提案になるまで話し合いを重ね
提言を作りあげる



過去2年間に出した 政策提言がどのように反映されているか を確認

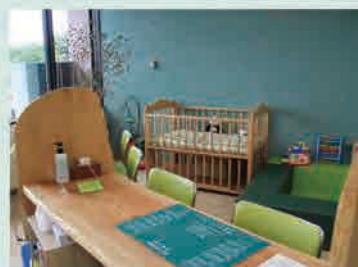
令和3年 提出提言 反映結果

提言1 支障木整備事業の促進と補助金の創設

地域運営支援事業を創設し、小集落支援事業として50万円の補助金の補助額を拡充した。また「町出払い地域応援隊」を発足。草刈りと共に支障木整備も実施予定。

提言2 超少子化対策

木のぬくもりある子ども課新オフィスにて、保健師も含め包括的な相談が受けられるようになった。各種新補助金を通し出会い・結婚・出産・子育ての伴走支援を実施。



提言3 JR 富士見駅 エレベーター設置

JRとの協議を継続。乗降客の増加(2,000人/日)には観光面も含め町として最大の努力をし、少しでも実現に近づくよう施策を考えていく。

令和4年 提出提言 進捗状況

提言1 3市町村共同宣言に基づく連携/事業協力

エコライン・鉢巻道路の延伸を県に提言。茅野市、富士見町、原村の「八ヶ岳西麓ワインバレー」が県の「信州ワインバレー構想」に追加。「八ヶ岳西麓ワイン特区」にも認定された。

提言2 富士見高校園芸科を総合技術高校へ

県の「特色ある県立高校作り懇談会」へ諏訪6市町村から参加できていない。県の懇談会の結論が出た後に、県の「新校再編実施計画懇話会」を開始する予定。

提言3 山へ行こう補助金 拡充による森林整備

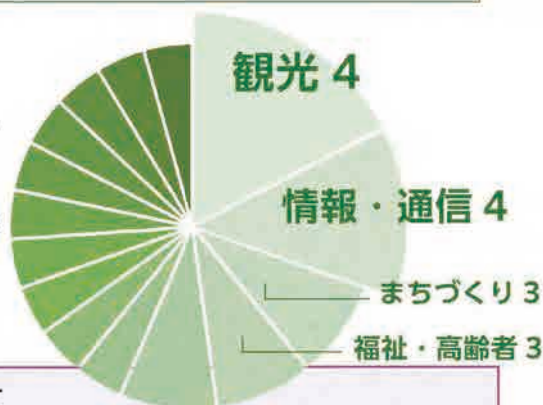
適用範囲を全ての森林に広げた。区有林も上限10万円で対象とした。令和5年度はすでに12件の申請がある。

提言4 超少子化対策事業の強化

出産祝い金は第一子以降もすべての子どもに一律10万円で支給。保育園/学校給食無償化は検討されていない。ゆめひろばの遊具に関しては、令和5年度中に設置予定。

町の考えを問う

一般質問で取り上げられた主なテーマ



9月定例会の一般質問は、9月4日、5日の両日行われました。9人の議員が登壇し、町と町教育委員会の考えを質しました。質問時間は、各議員に質問と行政側答弁を合わせて1時間割り当て、町側に通告した全項目を行います。質問順に、各議員の主な質問項目と、その答弁要旨を掲載します。



一般質問の映像はコチラ

質問順

1

おぐら ゆうこ
小倉 裕子

議席 9

1. 行政からの情報伝達について
2. 高齢者の支援について
3. デジタルの力を活用した子育て世帯への支援について
4. デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）利用について

2

なとり くにはる
名取久仁春

議席 7

1. 観光事業の概要について

3

みつい しんせい
三井 新成

議席 4

1. 町内の危険・改修箇所について
2. 町内2大リゾート無料キャンペーンについて

4

わたなべ よう
渡辺 葉

議席 6

1. 産前産後継続ケアについて
2. 未満児保育と保育士確保について

9月4日

5

やまぐち はじめ
山口 肇

議席 2

1. 中学校部活動の地域移行について
2. 難聴者補聴器購入助成事業について
3. 富士見町のいのちを支える自殺対策について

6

にし あきこ
西 明子

議席 10

1. 多様な性別・世代の住民の参加・協働の推進について
2. 地球温暖化対策と防災の観点から見た公共施設の今後のあり方について
3. 太陽光条例改正後の現状と課題について

7

やじま たかし
矢島 尚

議席 3

1. 議会からの政策提言について
2. 児童クラブの現状と課題について
3. 老朽化した公営町営住宅について

9月5日

8

おだ てるお
織田 昭雄

議席 1

1. 北通り線の安全対策と役場通り線の工事見直しについて
2. 富士見駅周辺の電線地中化と一体化した観光施策の充実について

9

うしやま よしひこ
牛山 吉彦

議席 5

1. 防災対策について
2. 町民と行政のコミュニケーションギャップ改善について
3. 富士見町のDX推進について

■ 質問順は、議会運営委員会の中で、委員によるくじ引きで決めています。■ 一般質問の要旨は、各議員がそれぞれ自分のページを責任編集しています。

デジタル田園都市国家構想交付金利用すべきではないか

答弁

有効に活用できるように研究して行きたい

おくら ゆうこ
小倉 裕子 議員



■告知放送の今後の方向性

- Q 先日、富士見町地域情報化推進委員会に出された「現行の告知放送を継続することについて」の諮問に対し、「プッシュ型の告知放送を継続すること」との答申が出されたが、町の受け止めは。
- A 生活の中に組み込まれている時間帯に、同じように放送が流れてくるというその安心感、そして情報伝達ツールとして必要なものであり、今後も同様の仕組みで継続していくとともに、加入率を上げることが大事だと認識している。

■高齢者の支援や子育て世帯への支援

- Q デジタルの力を生かし、高齢者の見守りや遠隔診療、子育て世帯の支援のための行政手続きツールの活用等を進めていく考えは。
- A 高齢者の足の問題も重要な課題である。また全国共通仕様に向けて整備されていく行政システム利用へのスムーズな移行も大事であると思っている。

■デジタル田園都市国家構想交付金デジタル実装

- Q 前出の質問項目で確認したような、情報伝達・取得の地域間格差・世代間格差等をなくし、町民全員が同じ情報を同じタイミングで得られ、告知・防災・見守り・子どもの多面的な教育のために、デジタル田園都市国家構想交付金利用を検討しないか。
- A 富士見町の課題解決にこの交付金が生かせないかという考え方のもとで、是非色々な選択検討を進めて行きたい。



遠隔診療も上手に利用

創造の森の整備計画は

答弁

今年度展望ウッドデッキ新設、来年度上水道新設

なとり くにはる
名取 久仁春 議員



- Q 創造の森公園の展望ウッドデッキ新設の場所と時期は。
- A 現在設計業者と委託契約をして、設計に着手している段階である。スケジュールは11月に工事の入札を行い、3月末の完成を目指す。場所は望峰の丘を計画している。
- Q 創造の森にある彫刻をもう少し生かしていくべきではないか。
- A 平成元年からふるさと地方創生事業として10年かけて50作品を整備してきたが、現状では彫刻目当ての観光は難しい。創造の森整備計画では彫刻も含めた眺望を生かした展望デッキや少し滞在時間を延ばすような休憩施設整備を計画していく。
- Q 彫刻の紹介方法として、QRコードの活用は考えられないか。
- A 一つの案として電波状況も確認しながら検討してみる価値はある。
- Q デッキ以外の整備計画は。
- A 休憩施設・遊歩道の整備、輸送手段の改善、それからインフラ整備としては上水道の設置を予定している。

- Q 上水道の予算は。また下水道の計画は。
- A 概算で、1000万円以上を予定している。下水道は非常に高額となりそうなので、まずはトイレの改修等を進めたい。
- Q 駅前Wi-Fiの整備の状況は。
- A 9月中旬に工事発注を行い、工事が完了後速やかに運用開始ができるよう進めていく。基地局は駅前公園に設置し、おおむね半径100mが利用範囲である。



ウッドデッキ設置予定の望峰の丘「富士山と女」

町内の危険・改修個所の周知と実施は

答弁 緊急性の高い個所から改修を行っている

みつい しんせい
三井 新成 議員



Q 町内の危険個所の把握はされているか。危険個所の改修計画はできているか。

A 随時、町民の皆さんや地区からの情報を基に把握に努めている。年に1回、長野県の担当者、砂防ボランティア協会の皆様、役場の関係者、地元の住民の方と現地確認を行い情報共有を図っている。詳細な改修計画は作っていないが、住民の安全確保を第一に考え、国や県と調整を取りながら事業を進めている。

Q 富士見町建設事業組合との連携は十分か、要望に応えた事業となっているか。

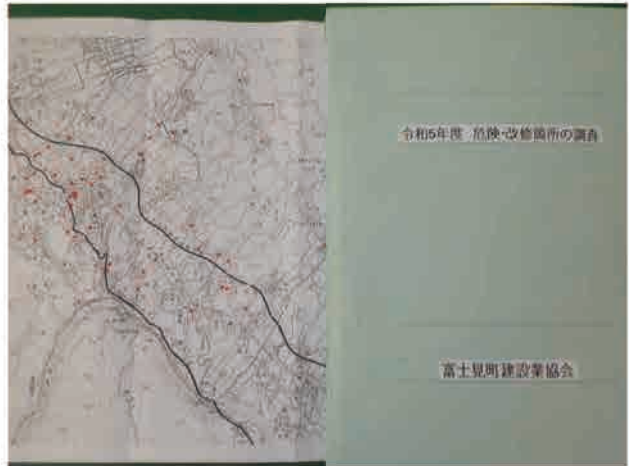
A 災害が予想される場合は、町と建設業協同組合が連携できる体制となっている。過去の災害においても、組合員を役場に派遣してもらい、役場に入った災害情報を基に組合員の指示のもとに最適な災害対応ができている。改修工事は、要望ではなく、報告を参考に緊急性の高い個所から改修を行っている。

Q 過去に造成されたブロック積の擁壁の細部にわたる調査の必要性は。

A 道路や河川に設置されたブロック積の擁壁は、職員によるパトロール時に、ひび割れや浸透水等の確認をしている。

Q 路肩の陥没によるガードレールの倒れや、蛇籠の破損による道路陥没の対応は。

A 組合の皆さんからの情報提供をいただき、関係集落との情報共有を行い、区の経過観察により危険となれば要望事項として町へ挙げていただき対応していく。



令和5年度危険・改修個所調査報告

助産師と連携し、妊産婦の不安を軽減できないか

答弁 乳幼児相談や新生児訪問時に助産師の協力を得たい

わたなべ よう
渡辺 葉 議員



Q 助産師による一貫した産前産後ケアを提供する考えは。

A 一貫した形になるかは揉んでいく必要があるが、産前産後ケアはまだまだ拡充の余地があると感じている。一般妊産婦への助産師による産前の個別相談等は、特に検討していきたい。

Q 助産院開業や嘱託医確保への支援はできないか。

A 助産院開業は町にとって非常にありがたく、できるだけの支援を検討したい。医療機器購入への補助も具体的な要請に基づき検討したい。嘱託医については地域連携における関係者会議にて町の要望としてテーマに挙げていきたい。

■未満児保育と保育士確保

Q 共働きでないと生活できない多くの家庭にとって未満児保育料が大きな負担となっているが、少子化対策として保育料を軽減/無償化する考えは。

A 保育士の数がかろうじて足りている状況であり、慎重な判断が必要。未満児で入所する児童の割合は年々増加し、2歳児はこの数年50%を超えている。

Q 保育士不足から希望園への入所や一時保育の利用ができない状況もあるが、対策は。

A 町としても保育士確保は喫緊の課題として認識している。様々な媒体での周知など工夫を凝らしたい。

Q 保育士の労働環境向上が重要だが、会計年度職員では給与が仕事内容に合っていない。保育士の正規職員の受験年齢条件を34歳以下から44歳以下に引き上げられないか？

A 近年29歳から34歳に引き上げたが、44歳までとの提案も前向きに検討したい。



保育士募集ポスター
移住定住関係施設にも
設置予定

補聴器購入助成事業の町税非課税世帯という対象は変えられないか

答弁 加齢による障害は様々、
補聴器購入補助のみ手厚くはできない

やまぐち はじめ
山口 肇 議員



Q 中学校部活動の地域移行にあたっては、部活動に関わる外部指導者や中学生の意見を聞き取る必要があるのでは。

A 中学校部活動は、現在の形ではできなくなる。関係者会議を開催し、合意を図ってきている。子どもの思いがすべて叶うということは保証できないが、子ども基本法に関わることなので、子どもの意見を聞くことは大切にしたい。

Q 「第2次富士見町のちを支える自殺対策計画」の取り組みの重点は。

A 命を支える自殺対策計画においては、地域におけるネットワークの強化、自殺対策を支える人材の育成、町民への啓発と周知、この3つを特に重要と考えている。全ての人々が自殺に追い込まれるという危機にあり、自殺は誰にでも起こりうることで、認識することが重要。

Q 長野県は、子どもの自殺が全国平均を上回っている。町のアンケート調査でも相談できない理由として、「自分一人で解決すべきだと思う」等と半数以上が答え、新自由主義的な考え方が広がる危機的な現状にある。その対策は。

A 富士見町では、過去5年間、未成年者の自殺者はいない。子どもが相談しやすい環境づくりをしながら、ゲートキーパー研修を計画的に実施し、地域の人材育成を進めていく。



ヘブンリーブルーの「緑のカーテン」 (富士見中学校)

多様な世代・性別の町民の参画は実現可能か

答弁 会議の内容や目的に応じて工夫していきたい

にし あきこ
西 明子 議員



Q 一番人口流出の多い、20代女性が審議会や委員会に参加している例は。

A 令和5年4月1日時点で、委員会の女性比率は22.1%。世代構成は把握していないが、現段階で20代女性が入っている審議会、委員会はない。「こども基本法」の施行もあり、今後は子ども・若者の町政への参画を促していく必要があると考える。必要な議論ができるよう、さまざまな事例を研究し、情報共有しながら工夫していきたい。

A 太陽光条例改正後の許可申請件数は1件で、竣工検査も済んでいる。条例改正前に許可した案件の中に工事が中断しているものもあり、状況は把握している。災害を誘発する可能性がある場合については、町からの助言・指導、場合によっては勧告する場合もある。現在、町内全域が抑制区域となっているが、適切な作物があれば、営農型太陽光発電なども検討していく。

■地球温暖化防止対策

Q 地球温暖化対策と防災の観点から見た公共施設の今後は。

A 各小学校は二次避難所にもなっており、太陽光発電や蓄電池機能を備える必要性は感じているが、設置のコスト、維持管理、建物自体の耐久性など研究の必要がある。「地球温暖化対策実行計画 事務事業編」において、公共施設の屋根活用、災害時に利用できる太陽光発電・太陽熱設備の導入の推進、PPA事業の導入も検討する方針を定めている。

Q 太陽光条例改正後の現状と課題、今後の太陽光施策の展開は。



営農型太陽光発電による食糧と電力の自給例

議会から町への提言書提言書（エレベーター設置）

やじま たかし
矢島 尚 議員



答弁 エレベーター設置は必要と考えている

令和3年度、提言書として議会より提出した3項目の中の【富士見駅エレベーター設置計画】の取り組みについて2年経過したが進捗状況は。

富士見駅利用者の利便性の向上バリアフリーへの対応面から、エレベーター設置は必要だと考えています。しかし新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、特急あずさの利用者も激減しJRの経営状況も大変厳しくなり、また、あずさ利用の先行きも不透明な状況でしたので、JRとの協議の中でエレベーター設置の交渉は中断していました。現在、富士見駅の乗降人員ですが、2020年1,462人/日でしたが、2022年は1,570人/日と増加傾向にあり、乗車実績はコロナ前に戻りつつあります。今後はこの乗降者数の回復を見ながらJRと協議を進めていきたいと考えています。町としてもエレベーター設置に向けて設置に要する費用と町の負担額を再度精査する必要があります。
(負担割合はJR・国・町それぞれ1/3、県は1,000万円の補助金)更には富士見駅前のWi-Fi整備、新交通システムで、エレベーター設置の要件である1日の乗降客数2,000人に近づけていくよう取り組みながら連携を強化して進めていきたいと考えます。

■関連質問からの町長答弁

- ◆事業主体はJR。
- ◆JRの経営状況が良ければハードルは下がる。
- ◆設置条件に見合っていて設置を待っている自治体もある。
- ◆エレベーター以外の人道橋とトイレの移動も考えられるため工事費増。



利便性向上にエレベーターは必要不可欠

駅前駐車場にあずさ乗降客を増やす施策を

おだ てるお
織田 昭雄 議員



答弁 パークアンドライドの導入に取り組みたい

役場下の北通り線交差点で起きた人身事故に伴う安全対策の見直しは必要ないか。

7月4日青信号で横断歩道を渡っていた歩行者に接触した事故は交差点の見通しはよく交差点の形状に原因はない。運転者の安全確認不足です。北通り線の歩道の冬場の管理は町が業者委託をして除雪管理しています。二の沢団地前の植込みや草刈り等の手入れは住民の皆さんと町が協力して行っている。

開通した北通り線は広い道が開通して便利になったが交通量も増えている。必要などころに道路標識を付けられないかと心配の声に対応できないか。

北通り線の標識は道路を設計した段階で一旦停止の標識が付けられないか、県の公安委員会で協議をしました。その結果公安委員会が設置の必要は無いと言う判断で標識はついていません。利用する中で様子を見て状況が危険であれば町から公安委員会に要望する。

パークアンドライドを進め特急あずさの富士見駅の乗降客を増やしエレベーターの設置を真剣に推進すべきでは。

パークアンドライドによって利用者は向上する事は考えられる。令和2年の3月にも質問を頂き産業課に指示をしたが、新型コロナウイルスの感染が広がりあずさの利用客が激減した為に一時様子見としたが、コロナも一段落したので乗降客2,000人のハードルも含めて粘り強く取り組む。決して諦めている訳ではない。



都市計画道路で第1号の全線開通した北通り線

防災マップに過去の災害などを反映可能か

答弁 地区防災マップに掲載している

うしやま よしひこ
牛山 吉彦 議員



Q 防災ガイドブックは県の調査結果が反映されているが、計算上のみでの区域表示であり過去の災害や工事・人工物敷設が反映されていないのでは。

A 現在の防災ガイドブックはH25年度に作成したものをH29年度に更新して全戸配布。またハザードマップは町HPからの閲覧に加えR4年度に導入した防災アプリからも閲覧が可能となった。コンテンツを増やし利便性を高め、町民の防災意識の醸成を努めたいがまだ努力が必要。R6年度に更新を予定しており、県の調査に市町村の意見も反映できるので、災害リスクが高いと思われる箇所を県に進言可能である。

Q 地区防災マップの進捗状況は。

A 小六と乙事は既に作成済み。本年度は西山4地区(若宮、木の間、塚平、栗生)に加え、神代区は県のコンサルに頼らず町主導で対応中である。危機意識を高める意味でも地区が主体となってマップ作りを進めてもらいたい。そのため、町も支援していく。

Q 森林整備計画には防災の観点がどの程度反映されているか。

A 人家や耕作地・河川・道路等に隣接する森林の皆伐を行う際は一定距離の緩衝帯を設けたり、雨水による土壌の浸食や流出を防ぎ土砂の崩壊を防止する観点から、ゾーニングの中で山地災害防止機能/土壌保全機能森林を定めている。



富士見町防災ガイドブック・地区防災マップ・森林整備計画ゾーニング図

VOICE

コロナ決算。コロナは何を残し、何を奪ったのか。

うしやま もとき
議長 牛山 基樹



9月定例会では議長を除く10名で決算審査が行われました。感染拡大の大きなダメージの最中にあった令和2年度、3年度の決算を経て「新しい社会づくり」が行われ、回復基調に繋がった5年度予算の狭間にあり、選挙後新たな議員の視点が加わった最初の決算であるなど、「今までのことから、未来のことへ」これからの町の行政運営を示す注目すべき決算でした。

歳入総額 101 億円 (国民全員に10万円が配られた令和2年度 103 億円に次ぐ金額)。専決3回を含む11回組まれた補正予算の総額 17 億7465 万円。次年度繰越金も6億 9025 万円、臨時的な歳入が 36.1% を構成する特徴ある大きな決算でした。

通常年と同じ業務執行の検証に加え、それぞれの基礎自治体判断で使い勝手の良い「コロナ対策地方創生臨時交付金」や、感染症緊急経済対策、物価・賃金、生活総合支援などの国・県からの補助金は、これからの町づくりにどう活かされ効果を上げたのか? どのように評価するのか? 表の数字だけではなく俯瞰した視点が各議員には求められたわけです。

議長は執行側に質問することは出来ませんが同席させていただきました。

新しく迎えた議員は今までにない新しい角度から検証し質問されました。ベテランの議員は経験からひも解く深い質問がありました。まさに議会に求められる多様性が幅広く発揮された。と私は総括いたしました。

9月議会で決まったこと

9月定例会は8月31日から9月15日までの会期で開催され、補正予算、条例改正、決算認定など19議案と1陳情を原案どおり可決・承認・認定しました。

補正
予算

2,135万円



6/2 災害復旧

6/2 大雨による被害を受けた箇所の復旧作業

財産
取得

921万円



除雪車買換え

38年経過した現在のホイルローダーを下取りにし、新型を購入

補正
予算

30万円



アピアランスケア

がん患者への外見的補助具（ウィッグ、乳房など）購入費補助

補正
予算

245万円



地域交通システム実証運行

～誰もが、マイカーに頼らず、どこまでも自由に、やさしく移動できるまち～実現のための実証運行開始

補正
予算

149万円



浄化槽設置

下水が通っていない区域に居住される方対応

補正
予算

400万円



大型テレビ設置

小学校へ大型テレビ 15 台設置（モニターとして授業内で活用）

賛否が分かれた審議

○賛成 ●反対 ※棄権

議員	織田 昭雄	山口 肇	矢島 尚	三井 新成	牛山 吉彦	渡辺 葉	名取久仁春	五味 仙一	小倉 裕子	西 明子	採決結果
【請願・陳情】											
【陳情第 5-4 号】健康保険証の存続に関する意見書の提出を求める陳情書	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
【反対側の意見】 「健康保険証」の存続に関する意見書の提出を求める陳情書（陳情者 長野県保険医協会）。 国が進めるデジタル化政策は、世界に大きく水をあけられた部分を世界水準に近づけるために政府が 2024 年秋に現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに一本化する法案を可決成立させたことに反対の陳情であります。政府は現在廃止の方向は崩れておりませんが、最終的な国の判断は変更されることも考えられる状況の中では反対の陳情には賛成しかねます。私は趣旨採択案を提示しましたが、社会文教常任委員会は賛成多数で意見書提出が決定いたしましたので、この陳情書の提出には反対を致します。 文責 織田昭雄											
【委員会・議員提出】											
【議 第 8 号】健康保険証の存続に関する意見書(案)	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (意見書送付)

総務経済常任委員会

災害復旧のための補正予算

- Q 工事の進捗状況は。
- A 駅前水路の土砂撤去と矢の沢川の石積み復旧以外は全て竣工している。
- Q 基金の繰入れに問題はないか。
- A 財源として財政調整基金を繰入れている。災害の状況によるが、積極的に国の補助金を活用していきたい。

地域交通システム実証運行のための補正予算

広報ふじみ 11月号 P24-25 参照

- Q 本年度（初回）の期間と路線は。
- A 平日の学生が利用する時期として、令和5年11月13日から12月25日（平日のみ）を予定している。路線は信濃境駅・境線。
- Q コミュニケーションを深めるとのコンセプトだが、バスの形状は。
- A 中型の路線バスで、つり革があり、座席が横向きのタイプを予定している。
- Q 自由乗降方式は取り入れるのか。
- A 現状は考えていない。自由に乗り降りするには時間が必要で、20分以内に最寄り駅まで移動するところにメリットがある。

社会文章常任委員会

アピアランスケア補整具購入費補助のための補正予算

- Q アピアランスケア対象者の把握は。
- A がん治療をされている方でフォローしている。10人という医療機関の情報に対し初年度なので5人の予算計上とした。
- Q 補助金額の上限は。
- A 補整具の購入費用の2分の1。1か所2万円上限で4か所まで。

みなさんのお声を聴かせてください。



△切り取り線▽

<切り取り線>

あなたの声を聴かせてください

上部のハガキを切り取り、みなさんのお声を聴かせてください。どんなことでも結構ですので気になることをお知らせください。議会では町民の皆さんと共に歩む開かれた議会を目指します。



「議会だよりモニター」一旦休止のお知らせ

8年間にわたる「議会だよりモニター」の多大なるご協力により、誌面の充実を図ることができました。年々政策へのご指摘が増えたことでコロナ禍においても町民の意見を聞くことができ、議会にとって大変重要な制度となりました。一方で、誌面モニターと政策モニターでは役割が異なる部分が大きいため、目的の整理が必要とされています。対面での各種団体との意見交換会などを通し、より多くの町民の皆さまの声を聞くことが可能となった今、これからのモニター制度について議会として方針を出すため、今年度は一旦休止することに決定しました。

議会だよりモニターの変遷



茅野局承認
1567

差出有効期限
令和6年4月
30日まで
切手不要

長野県諏訪郡富士見町落合 10777

富士見町議会 行き



みなさんの声

貴重なご意見ありがとうございました。
もしよろしければ該当欄にマル印をつけて投函してください。

10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代・90代以上

※いただいた内容は議会だより(匿名)で掲載させていただく場合があります

許可する 許可しない

< 切り取り線 >

POST
SCRIPT

編集後記

9月議会は、本会議、常任委員会の6日間以外に、令和4年度決算審査と町への政策提言書づくりで5日間を費やしました。決算審査では、各課から歳入歳出と主要施策の成果説明を受けて、質疑応答を重ねました。町民一人一人に必要な支援や情報が確実に届けられるように工夫していく必要性を感じました。

今回の特集は、「この事業、こう評価」です。令和4年度の決算審査を通して、税金がどう使われ、今後何を望むのか、各議員の視点でお伝えします。住民のみなさんが興味を持って読んでいただけるように、見やすく読みやすい「議会だより」づくりに取り組んでいます。お気づきのことや改善してほしいこと等々、ぜひお聞かせください。

議会広報編集委員 山口 肇

NEWS

Facebook はじめました



この度、議会広報編集委員で Facebook を始めました。ぜひのぞいてみてください!



議会活動、全協のスケジュールはホームページをご覧ください



△ 切り取り線 △

YOUR
FUTURE

聞かせて /

あなたの未来



結婚を機に富士見町に暮らして50年ほど。ボランティアなど、地域のさまざまな活動の傍ら「富士見の自然と文化を学ぶ会」の会長をされている小林さんにお話を伺いました。

富士見の自然と文化を学ぶ会会長
小林 陽子さん

Q: 会の活動について教えてください。

塚平のセメント工場建設計画がきっかけで「この地域の自然と文化を守ろう」と、1970(昭和45)年にこの会が設立されたそうです。1972(昭和47)年からは「高原の自然と文化」の発行が始まり、町内外の多くの識者が「自然と文化」についてさまざまな分野にわたり投稿し、現在まで継続しています。富士見町図書館にも収蔵されているので、読むことができます。富士見公園と白林荘、ホタルや水生昆虫などに配慮した自然共生型の水路の散策会や、方言を学ぶ会も開催してきました。



Q: 今後、どんな活動をしていきたいですか。

多くの人と一緒に富士見町のことを学びたい、知りたいと考えています。先輩方が残した私たちの財産「高原の自然と文化」の会誌も活用しながら、今後の活動に繋げていきたいです。若い人たちにも富士見の素晴らしさを知ってほしいです。

Q: 小林さんの元気の源は?

好奇心旺盛ということでしょうか。人と付き合うことが好きで、人とつながるとその人から学ぶことがあります。いろいろな人とお付き合いするなかで、さまざまな活動にも関わるようになりました。大切にしてきたのは「任されたことは、一生懸命にやる」ということです。でも、1人で抱え込まず、悩んだら周りの人たちに相談して乗り越えてきました。今が一番楽しいですよ。

議会を傍聴しませんか?

定例会(予定)

11/30 木

一般質問(予定)

12/4 月・5 火

※会期中であれば傍聴席から傍聴可能
※入退場自由。役場4階へお越しください

これまでの傍聴人



「議会広報編集委員」
委員長: 牛山 吉彦
委員: 山口 肇・渡辺 葉

副委員長: 西明子

発行: 富士見町議会 編集: 議会広報編集委員会
お問い合わせ: 富士見町 議会事務局 ☎0266-629403
〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合10777



議会Webサイト



議会チャンネル